

# 「シングルマザー」テーマのドキュメンタリー映画の上映について

## 議員会館での「超党派」での試写会開催の要望

いま、世界の映画祭で徐々に話題となり受賞を始めている1本の映画があります。

### 『取り残された人々 日本におけるシングルマザーの苦境』

オーストラリア出身のドキュメンタリー映画監督ライオン・マカヴォイ氏(日本在住)が作った本作は、2023年1月から世界中の映画祭(100カ所を予定)に出品され、大きな驚きと関心を集めています。

いままで経済的に強いと思われた日本に存在した「隠された貧困」が世界に公開され、ドキュメンタリー部門で優秀賞を獲得しつつあります。すでに30を超える映画祭から上映作品として選ばれています。

先頃、岸田内閣は「少子化対策」のひとつとして「シングルマザーへのケア」を打ち出しましたが、本作は立法府、行政府、地方自治体において政治や思想・宗教を超えて、すべての議員・職員が見るべき作品、いえ日本人すべてが知るべき現状報告映像として強く推薦いたします。

シングルマザーの暮らしの実態、それを支える人々の活動、そして豊かな日本に隠され続けた貧困、それを現出させた精神文化のおよび歴史的理由について専門家の意見が紹介されています。

昭和二十年の敗戦からスタートした民主主義、その後の高度経済成長期を経て徐々に歪められた日本社会における女性のポジションや行政の対応不足が的確に指摘されているのです。

親日家の外国人監督の目線で描かれた日本社会の実像が海外で高い評価を受けつつあります。

### 「日本はシングルマザーの貧困問題を解決できる」という希望

本作は日本の社会制度や政治の不備を指摘しつつ、日本人は必ずやこの問題を解決できる…という期待をメッセージとして発信しています。

日本が大好きで来日し、その優れた日本の社会、経済、文化、技術について映像で世界にレポートを行って来たライオン・マカヴォイ監督は、仕事を通じて知り合った日本人シングルマザーのプロデューサーとご結婚されています。日本人が無意識に見逃していた不都合な真実は、彼らだからこそ描き出せたとも言えます。

政治と行政の専門家の皆さま、是非とも、この世界的な話題作を是非御覧ください。(2023-01-26)



問合せ先 → サイバーダイン株式会社 電話 03-3202-2518 (10am-6pm/祝祭日除く)  
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 74 ビューロー3F 担当: 高橋・岩本  
[single@cyberdyne.co.jp](mailto:single@cyberdyne.co.jp) [takahashi01@cyberdyne.co.jp](mailto:takahashi01@cyberdyne.co.jp) [iwamoto@cyberdyne.co.jp](mailto:iwamoto@cyberdyne.co.jp)  
公式サイト: <http://www.cyberdyne.co.jp/single>